



竹富町立

Fungura Junior High School

〒907-1541 沖縄県八重山郡竹富町字上原870番地

TEL 0980-85-6554 FAX 0980-85-6010

MAIL fungura.school.main@town-taketomi-Okinawa.com



◇創立記念日 ··· 昭和32年(1957年)4月1日(創立67年周年)

◇本校の位置 … 北緯 24度24分33秒 東 経 | 123度48分2|秒 31.7m

◇職員数 …

男子	県7	町0
女子	県5	町2
合計	- 1	4

◇生徒在籍数 … 【令和6年度】

		中 2	中3	合計
男子	8	4	16	2 8
女子	8	6	4	18
計	16	10	2 0	4 6

- ◇特色ある取組 … ① 炭焼き体験学習(39年目)
 - ② 海洋教育(サンゴモニタリング)
 - ③ 三大行事
 - ·R6西表島横断 ·R8浦内川筏下り
 - ・R7テドウ登山

竹富町立 船浦中学校では

15の島立ち

に向けた教育を行います♪

学校教育目標(=めざす生徒の姿)

「自ら考え、判断し、言動できる人」の育成 ~ 自分らしく あなたらしく ~

学校経営方針

- (1) 15の島立ちに向け、生徒・保護者と対話を通して学習しやすい環境(スタディー ・ライフ・バランス)を構築する。
- (2) 常に学校教育目標を踏まえた各種教育活動を展開する。
- (3)特色ある日課表を最大限に生かし、生徒会活動を機能させる。
- (4) 生徒のために保護者、地域、職員等の人材・資源等を効果的に生かす。
- (5) 職員と対話をしながら働きやすい職場環境(ワーク・ライフ・バランス)を構築 する。

3 校訓(自主・親愛・努力)

- ◆「自主」→「責任ある行動をとる力(自律)」
- ◆「親愛」→「対立やジレンマに対処する力(対話)」
- ◆「努力」→「新たな価値を創造する力(創造)」



The OECD Learning Framework 2030

「自ら考え、判断し、言動できる人」の実現に向け「生徒が言動し、大人が支援する」 というスタンスで各種教育活動を展開する。

5 キーワード

4 重点事項

○ エージェンシー(主体性) ○アップデート(成長) ○ ウェルビーング(幸福)

国家绘画

6 めざす授業の姿

- ◆「GIGAスクール構想 |人|台端末の日常的な活用(中学校編)」→→→ □ □ □ URL→ https://www.youtube.com/watch?v=Tb7ioQRr53Q
- ◆「令和の日本型教育の構築を目指して」→→→ あります
 - URL→ https://www.youtube.com/watch?v=DLkaVCTOAUY



竹富町立 船浦中学校では

午前 5 時間制

を導入しております♪

沖縄県教育委員会・竹富町教育委員会では、各学校の創意あふれる魅力ある学校づくりを推進しております。 その取り組みの1つとして「午前5時間制」を取り入れました。「午前5時間制」は、一単位時間を45分間とし、 午前中に集中して学習することを通して学力の定着を図り、午後にゆとりの時間を生み出し、各学校の実態に合わせ て活用することを特徴としています。日課表に関するアンケート調査から生徒にも好評で、教職員の「働き方改革」 にもつながる取り組みの1つとして推進して参ります。

午前5時間制の魅力ある学校づくり

	登校・朝ボ 読書・自学	7:30-8:00	
	朝の会	8:00-8:10	
	1 校時	8:15-9:00)
	2 校時	9:10-9:55	>
	3 校時	10:05-10:50	
L	4校時	11:00-11:45	
7	5 校時	11:55-12:40	IJ
	給食	12:40-13:20	
	昼休み	13:20-13:50	*昼
	6 校時	13:50-14:35	\setminus
	教科横断の時間	14:45-15:15	$\}$
	清掃・帰りの会	15:15-15:35	N

補習/部活/下校 15:35-18:00

●生活習慣の確立

午前5時間制は早寝・早 起き・朝ご飯の習慣化の向 上が確認されています。

●授業時数と授業コマ教の確保

午前中に5単位時間分の授業 を行うため、授業時数の確保に つながります。

集中力の高い午前中に行う5単位時間の授業

●長時間学習の活用

主体的・対話的で深い学び の実現を目指した授業を行い ます。思考力・判断力・表現 力等の育成に効果的です。

●短時間学習の活用

「わからなかったこと」を 「わかるようにする」ための 時間・発展的な学習をするた めの時間として設定します。

休み⇒歯磨き・休憩(10~15分間のナップタイム …「脳をリフレッシュする昼寝の時間」)

学習の質を高める「長時間学習」

基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る「短時間学習」

生み出した放課後の「ゆとり時間」

① 個別指導の充実

授業で分からなかったところや苦手な学習を個別 に教えてもらったり、学校生活等について仲間や先 生と対話をすることもできます。

② 自由時間の拡大

学校行事等が多い中、生徒たちに自由な時間も確 保することができます。

③ 生活リズムの確立

年間を通して18:00に下校時間を設定することで、 生活リズムも整います。

〇 教材研究等の充実

- ・教員同士が話し合い、生徒にとって楽しい、 分かる、参加する授業等の工夫もできます。
- ・ワークライフバランスの意識が高まり、プラ イベートも充実します。
- ・教職員における「働き方改革」の推進を図る ことができます。



